

## 米軍基地工事の中止を!京都府知事に緊急申し入れ

# 府当局「二役（知事・副知事）に伝えたい」 「住民不在でも、工事着工を容認するのか!？」



・第4次の署名を提出する新婦人京都・森下綾子共同代表

### 住民過半数署名を含め第4次の署名を提出

- ・今回提出(第4次分) 13,580筆
- ・総数 44,713筆
- ・現地住民過半数署名561筆

事)といわれても対応できない」「課題があるも  
とで、内部で検討し、二役(知事・副知事)にも  
伝えたい」と答えました。

### 『府民の会』工事着工中止へ緊急申し入れ

『京都に米軍基地いらない府民の会』は、5月2日、京都府に対し、この間防衛省が行った不誠実な地元説明会と環境影響評価の実施もなされないもとで、京都府知事が工事着工の中止を求めよう要請しました。要請書では、①基地建設工事着工の中止、②環境影響評価の完全実施とデータの全面公表、③工事概要と文書による回答、説明会の実施を政府に求めること、④防衛省による府民への説明会の実施をさせること、を求めています。また、この日、要請署名を提出しました。現地での住民過半数署名561筆分を含め、4次分として合計13,580筆を提出。これまでに提出した署名の総数は44,713筆となりました

### 府当局「二役（知事・副知事）に伝えたい」

申し入れでは、「知事は、(防衛省から)回答をもらっていないといっている。」何も進んでいない。防衛省が開催した地元説明会の説明が平面図とレジュメだけの資料による口頭説明で、工事の資材運搬や工程表、軍人・軍属の行動など、住民の不安に何ら応えておらず、「安全・安心が確保されたとは、おおよそいえない」と指摘。「民間のマンション建設工事でもこんな事例はない。府としてどう対応するのか」と厳しく迫り「住民不在の工事着工は、中止すべき」と求めました。

総務調整課・辻村課長は、「(防衛省に)着工開始日を求めているが返事がない。来週から(工

### 主なやりとり

#### <環境影響評価について>

(●印は、府当局の回答)

●事前のアセスの運用は、米軍がやっている。防衛省が「米軍に申し入れる」との発言があるが、「申し入れ」をしたかどうかは不明。京丹後市、京都府も環境対策をちゃんとするよう申し入れているが、回答は知らされていない。

#### <現地説明会と工事の着工について>

●資料はお粗末だが、説明はされたのではないか。着工はOKかどうか、昨年、いくつかの条件を付けた。確認事項が守られるように事前・事後の調査がやられると思う。黙認するのではない、不十分な点もある。ていねいに説明すべき。われわれが、とやかくいうことはできないが、確認したことは守っていただく。着工できるかわからないが、課題もあるもとで、内部で検討したい。二役に伝えたい。工事開始日を求めているが、返事がない。わかったら教えるべきで、地元説明は当然だ。「来週から(工事)」といわれても対応できない。

◎着工までの課題を詰めるべきだ。説明会の開催を。できなければ「工事中止、協力の撤回」を。

◎府民の会は合わせて、質問事項【裏面】を提出し、文書回答をするよう求めました。

## 京都・京丹後市への米軍レーダー基地設置問題での京都府への質問

### 1. 米軍基地建設工事着工についての緊急質問

- ① 米軍基地の概要や工事計画概要も示さないままの工事着工は、コンプライアンスの問題として行政（政府・防衛省）として問われる事態である、京都府の見解を示されたい。
- ② 5月早々にも工事着工とのことであるが、工事工程表も提示せず、着工することについての是非についても京都府の見解を示されたい。
- ③ 工事車両の出入等の安全策として、以下概要を明確にし住民に告知・協議すること。
  - ・月単位・週単位・各工事实施単位で、工事車両の出入り数、ダンプ・クレーン等
  - ・搬出土砂、搬入コンクリート、大型機材等の日時・数量
  - ・特に、大型車両の現場入出構日時、車両数及び保安要員等の人数と配置場所
  - ・騒音等発生する工事の有無とその概略の日時
  - ・建設工事業主体者・工事業業者等の責任者とその緊急連絡先
  - ・工事車両等の前後に工事名称・車両ナンバー、事業者の明示

### 2. 米軍基地についての重要質問

- ① 車力基地と違い、鉄筋コンクリート2階建の恒久的な建物を経ヶ岬に建設することの理由はなぜか？米軍は前方配備レーダー基地に恒久的な建物は予定しないはずだが。
- ② 地下室等の地下構造物の予定の有無について。
- ③ 3万4千リットルもの燃料は、燃料タンク車で備蓄されるのか？その安全策は？
- ④ 発電機に係わる問題について
  - ・1,300キロワットの発電能力：2機、840キロワットの発電能力：3機の5機の発電機が配置。
  - ・騒音は直近で、90デシベル。騒音対策はどうするのか？
  - ・1,300kwの発電車2台で、一時間あたり約90ガロン（340ℓ）の燃料消費の排ガス対策はどうするのか？
  - ・冷却ユニットは、付随しているというが、その材質と安全性はいかなるものか？
- ⑤ レーダー機材は、潮風を受けるため定期的な洗浄が必要となるが、その洗浄水の確保と洗浄後の水の浄化方法・設備、水質調査システムはどうなるか？垂れ流し？
- ⑥ 飛行制限区域について
  - ・180°で半径6km、高度6kmの半円形の飛行制限区域は、昨年6月4日の防衛省回答では「軍事上の保全の必要性」とあるが、本当にそうなのか？

### 3. 安全安心問題での住民の不安に係わっての緊急確認事項

- ① 軍人の武器携行については、当面のホテル滞在時でも、拳銃等の武器は所持しないとの明確な約束はあるのか？あるとしたら、その担保はあるのか？
- ② 事件事故問題に関して
  - ・基地勤務時以外の車両等の個人所有とその場合は、公務外となるかについての確認。
  - ・軍属については、軍法会議では裁かれないとのことであるが、その確認。

### 4. 米軍基地そのものの安全問題について

- ① 昨年9月の知事の対政府要求項目で、「ミサイル防御」と「テロ対策」に万全を期されたいとの項目があるが、車力のような自衛隊のPAC3部隊の配置やテロ対策特殊部隊の配置がありうる。京都府は、このような追加配備について、了解するかどうか？
- ② 九品寺の本堂の裏までは、参拝等市民の立ち入りが可能だが、あまりにも「米軍基地」に近接している。また、参道にあたる道路も近接している。事件・事故発生時の国民・府民・近隣住民の安全性は確保できるのか？
- ③ 米軍基地の防御が過剰となった場合、宗教施設としての存立にも係わると考えられるが、京都府の見解を示されたい。